

平成30年度

新町小学校の教育

平成30年4月

■学校教育目標

たくましく夢に向かって進み、ともに高め合い、輝く子の育成

■目指す子ども像

- 力を合わせ、学び合おうとする子
- ねばり強くものごとに取り組む子
- 自ら進んで、課題を解決する子
- 夢や将来を、豊かに思い描こうとする子

■目指す学校像

- どんなことにも、意欲的にチャレンジしていく学校
- 規範意識を確立し、すべての一人一人が大切にされる学校
- 子どもを真ん中に、保護者・地域・教職員が手を取り合う学校

■目指す教職員像

- 子どもの命を守りきる教職員
人権教育を基盤に、子どものよさや可能性を最大限に伸ばす
- 自ら主体的に、指導力の向上に努める教職員
子どもが、主体的・対話的にいきいきと学ぶ授業の創造
- 保護者・地域から信頼され、連携・協働できる教職員
社会に開かれた教育課程の推進

■ 重点的な取組 「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」

◎研究の推進：校内研究を「生き方探究教育」とし、研究の積み重ねが、子どもの姿を通して見える具体的な実践研究に取り組む。

(1) 「確かな学力」の育成

- ①社会とのつながり・接続を実感できる教科教育の実践
- ②基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得
- ③課題発見・解決型の探究活動を通じた知識・技能の活用
- ④「主体的・対話的で深い学びの過程」の実現
- ⑤英語教育推進校として、実践的な英語力の育成
- ⑥総合育成支援教育の推進

(2) 「豊かな心」の育成

- ①道徳教育の充実
- ②規範意識の育成
- ③高め合い支え合う集団づくり

(3) 「健やかな体」の育成

- ①運動やスポーツの実践と体力向上
- ②基本的な生活習慣の確立
- ③「食育」の取組
- ④飲酒・喫煙・薬物に関する指導
- ⑤安全教育・防災教育の充実

(4) 教職員組織の活性化

- ①「チーム新町」の意識
- ②校務分掌の活性化
- ③ミドルリーダーの活躍
- ④全校体制での若年教職員の育成を図る。
- ⑤働き方改革の推進

(5) 教育環境の整備と充実

- ①所属感を生み、学びの意欲を高める教室の環境整備
- ②学びの意欲を高める特別教室の整備
- ③確かで効果的な教材の提供をもたらすワークルールの整備と活用
- ④廊下掲示板やグリーンボードを活用した環境整備（学習や活動の計画・足跡）
- ⑤校内美化の励行

(6) 学校、家庭、地域のそれぞれの役割を明確にした連携の強化

- ①学校運営協議会の取組の創造と見直し
- ②学校評価システムの活用
- ③学校ホームページの充実・・・ホームページ作成支援システムの有効活用

(7) 校種間連携の促進

- ①2中4小・小中一貫教育の一層の取組推進
- ②2中4小校区での小小連携の推進
- ③幼稚園や保育園との一層の連携強化

(8) 学校事務の計画的・効率的な執行

- ①預り金システムの円滑な活用と確実な執行
- ②就学援助事務における担任・担当者・事務職員・管理職の連携
- ③学校事務の学校間連携の一層の活性化
- ④校務支援システム・教職員庶務事務システムの有効活用

(9) 研究などの指定の推進

- ①上京支部英語教育推進校
- ②コミュニティ・スクール促進事業